



Title	はじめに
Author(s)	江淵, 直人
Citation	低温科学, 65, 1
Issue Date	2007-03-23
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/20447
Type	other
File Information	TEION001.pdf



[Instructions for use](#)

はじめに

「低温科学」リニューアルの第二弾として、「気候学と古気候学の新たな統合を目指して—環オホーツク圏の気候変動—」をお届けします。

低温科学研究所の紀要「低温科学」は、1944年12月に第1輯が岩波書店から刊行されて以来、本号でvol.65となります。かつての「低温科学」には、雪氷や低温下の植物、昆虫などに関する優れた原著論文が掲載されていました。しかしながら、各研究分野において英文専門誌の比重が増すにつれて、原著論文を低温科学に掲載する意義が薄れ、1996年以降は、流水や積雪などのデータに関する資料集のみが刊行されてきました。2005年には、低温科学研究所が全国共同利用研究所として10年経過したことを機に、「低温科学」を大幅に刷新し、共同研究や研究集会などの活動の中から、その分野の最先端の研究を専門外の研究者・学生にも理解できるように紹介する解説に重点を置いた紙面作りを目指すことになりました。リニューアルの第一弾の前号vol.64は、「H₂Oが拓く科学フロンティア～氷と水とクラスレートハイドレート」として2006年3月に刊行されました。

本号は、2006年3月7、8日に開催された環オホーツク観測研究センターシンポジウム「環オホーツク圏における気候学と古気候学の接点—戦略的な気候変動研究の体制構築を目指して—」における講演内容を中心に構成しました。環オホーツク圏における気候学および古気候学の最先端の研究内容を講演者の方々に分かりやすく解説していただきました。

最後になりましたが、お忙しい毎日の合間を縫って原稿を執筆していただいた著者の方々、およびシンポジウムの企画・運営および本号の編集作業を担当していただいた三寺 史夫 教授、中塚 武 助教授に厚く御礼申し上げます。

「低温科学」2006年度編集責任者
江淵 直人
